



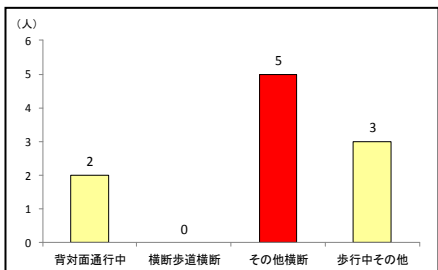
平成30年中の交通事故発生状況

京都府内における平成30年中の交通事故発生状況は、発生件数、死傷者数ともに減少し、特に死者数は52人で、統計が残る昭和23年以降最も少なくなりました。

しかしながら、未だ多くの尊い命が失われたことは、大変痛ましい事実です。交通事故死ゼロを目指して、更に交通事故防止を心がけていただきますようお願いいたします。

65歳以上の歩行中死者10人の特徴

● 横断中の発生が多い！



歩行者横断禁止場所における横断など、危険な横断が交通事故につながっています。

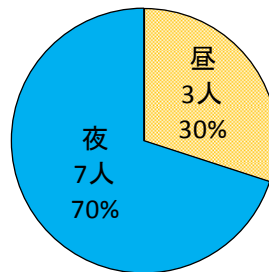


安全な場所から
安全をよく確認して
渡りましょう！



〈歩行者横断禁止の道路標識〉

● 夜間の発生が多い！



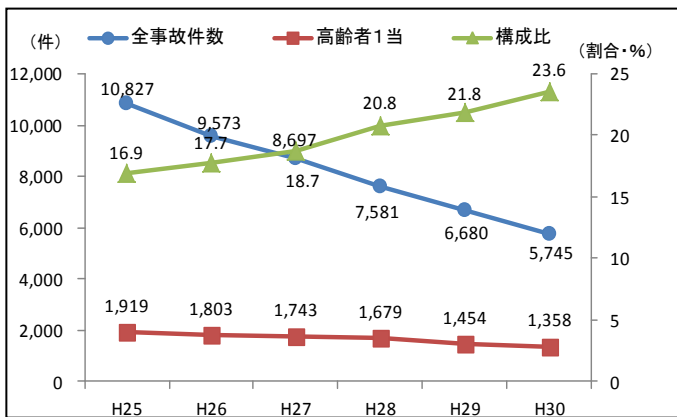
夜間に亡くなった7人全員が反射材用品を付けていませんでした。

反射材用品を
付けましょう！



65歳以上のドライバーによる交通事故の特徴

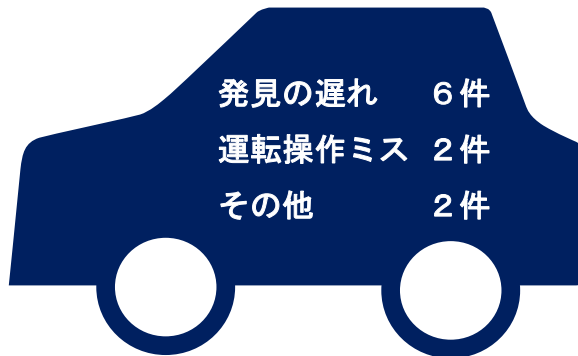
〈車が第1当事者となる交通事故発生件数の推移〉



車(原付以上)が第1当事者となる交通事故における高齢ドライバーの割合は年々増加しています。

〈高齢ドライバー(原付以上)による死亡事故原因(第1当事者)〉

(平成30年中)



雨の日や夜間など視界が悪い時は、なるべく運転を控えましょう。